

NEWS LETTER

架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

10月4日 ぜんち共済オンラインセミナーに登壇 「卒業で終わらせない学び」の意義を語る

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川正人

去る10月4日（土）、障害者向けの保険を取り扱う専門保険会社「ぜんち共済株式会社」主催でオンラインセミナーが開催されました。

今回は、『卒業で終わらせない学び～障害のある若者が自分らしく生きる社会へ～』というテーマで、約90分お話をさせていただきました。

講演では、以下の4本柱でお話ししました。

①私の経歴と福祉型カレッジ設立経緯、②知的障害者のおかれた現状と社会課題、③海外における知的障害者の大学進学、④『一般社団法人未来への架け橋』法人概要、です。

参加者の皆さまのご感想をいくつかご紹介いたします。

- ゆっくり学んでいる人達が卒業後にも学びを継続できること、土台ができた時に学べる場があることが日本でも大切だと思います。重度の知的障害がある人の枠組みが、今後、病弱や医療的ケアが必要な人の学びにも繋がっていけばいいと感じます。
- 最初から学びのためのカレッジは考えていませんでしたが、本人にとって良い環境やプログラムが整っていれば、カレッジも良いものだ気付かされました。
- 常々障害がある子が18歳で社会に出るのは早すぎると思っていたので、今回のセミナーで福祉型カレッジという選択肢もあるということを知れてよかった。これからどんどん増えていって欲しいと心から思います。
- 親としては子どもに就労して欲しいと思いますが、本人の意識や状態をよく知った上で、情報提供しつつサポートしていくのが大切だと改めて感じました。

当日は800名近くのお申込があったとのこと。ご視聴下さった皆さまが、知的障害のある人たちが障害の程度に関わらず、学びを継続することで日々成長し、世界が大きく広がり、豊かな人生の礎を築くことに確信をもってくださいましたら幸いです。

セミナーをご視聴くださった皆さま、また、このような機会を作ってくださいましたぜんち共済さま、ありがとうございました。



郊外行事：筑豊緑地（インクルーシブ遊具）

インクルーシブな遊具で遊べる、筑豊緑地へ遊びにきました。

あいにくのお天気ではありましたが、公園に着くと、清々しい青空が広がり汗ばむ陽気となりました。40分程の滞在時間となりましたが、皆さんそれぞれ楽しく遊ばれていました。天候に関わらず、皆さんが元気に過ごせたことがとても嬉しかったです。



宇美キャンパスの活動はこちらから

地域活動：三島楽寿園自然公園

小さい秋をみつけよう

朝晩に涼しさを感じるようになった10月8日、地域活動として三島楽寿園自然公園へ「秋探し」に出かけました。

園内には動物たちの姿もあり、足元にはどんぐりや椎の実、いが栗などが落ちていて、まるで宝物を探すような気持ちで自然の中を散策しました。「あっ！」と誰かが木の実を見つけると、みんなでしゃがみ込み、「なんの木かな？」とスマホで調べる…そんな微笑ましいやりとりが繰り返されました。散策のあとは、ススキが美しく揺れるテラスでお弁当タイム。室内とは違う開放感の中で、いつものお弁当がひときわ美味しく感じられました。温暖化の影響か、10月でもモミジは青々としていて、紅葉狩りには少し早い様子でしたが、それでも「小さな秋」をしっかりと見つけることができました。



公式キャラクター「ふわり」決定のお知らせ

前号でご案内した「未来への架け橋公式キャラクター」投票にご協力いただき、誠にありがとうございました。皆さまから寄せられた投票結果を参考に、やさしい表情とやわらかな雰囲気が印象的な「ふわり」が、未来への架け橋のキャラクターとして選ばれました。

今回のキャラクター募集には、各キャンパスの利用者さんからたくさんの素敵な作品が寄せられました。どのキャラクターにもそれぞれの思いや個性があふれており、それぞれに素敵な魅力がありました。ご利用者さんやご家族の皆さま、賛助会員の皆さま、関係者の方々の温かい応援に、心より感謝申し上げます。

これから「ふわり」は、パンフレットやイベントなど、さまざまな場面で皆さんに登場します。どうぞ「ふわり」とともに、未来への架け橋のこれからの歩みをあたたく見守っていただければ幸いです。



学びの現場から ～こんな授業やってます！～

宇美キャンパス：特別講座 応急処置のしかた

前回の特別講座にて、「応急処置～こういう時どうしたらいいの？～」をテーマに講師として Hospicemind/Calm訪問看護ステーションより看護師の高橋友香さんをお迎えしました。

応急処置とは何か、なぜ必要なのかといった基本を学んだあと、場面ごとに「こんな時はどうする？」「どんな物が必要？」をクイズ形式で考えながら学びました。

怪我や虫刺され・打撲・火傷などの症状ごとのとても解りやすく、また楽しみながら学べる事で自然と質問がでたり、他の方法を確認したりと、皆さん集中して聴かれていました。

まとめとして、「慌てない、助けを呼ぶ、自分にできることだけする(無理をしない)」は命を守る大切な第一歩です。そして、応急処置の仕方は、自分自身の為だけではなく、周りの人や家族、友達のためでもあることを知りとても有意義な時間となったようです。



三島キャンパス：アドバンスコース MTさん



「自分はダメだと思っていた」——そんな言葉から始まった彼の物語。

みらいカレッジに通う前、彼は家でひとり、寂しさと不安の中にいました。繰り返す日々、自分を責める気持ち。暗く辛い中にいました。

そんな日々から未来への一步を踏み出したのです。今、彼は仲間と出かける時間を心から楽しみ、授業では笑い合いながら意見を交わしています。就職に向けて努力を重ねる日々の中で、「みんなとわちゃわちゃする時間が好き」と語るその表情は、かつての不安に曇るものではありません。職員との関わりの中で「相談できる安心感がある」「頑張っていることを認めてもらえると嬉しい」と話す彼の言葉には、信頼と感謝が滲んでいます。そして何より、「コミュ障がだいぶ改善されている」と、自分自身の変化を実感していることが、何よりの成長の証です。

今まで自信がなく、傷つく事を恐れ、どうしても挑戦する事が出来なかった企業実習にも参加する事ができました。以前から彼を知っている人に「表情が違う…何があったの？」と驚かれる程に明るさと自信の現れてキラキラとし始めました。

これから挑戦したいことは「就職」。その先には「芸能活動にもチャレンジしてみたい」という大きな夢も。「みらいカレッジでは元気よく、積極的に、1日1日を大切に過ごしたい」と語る彼の姿は、まさに“未来への架け橋”そのものです。小さな一步が、大きな希望につながる。彼の歩みは、私たちに「変わる力」と「支え合う意味」を教えてくれます。

インタビューより

“自分の笑顔から、みんなの笑顔へ”

三島キャンパス 支援員 稲葉基継さん



現在は、就労クラスでは「物流演習」と「事務演習」を、自立クラスでは主に「SST」や「体育実技」を担当しております。以前は高校や中学校で教職に就いておりましたが、体調を崩し退職。その後は事務や測量などの仕事を経て、偶然にも塾の運営に携わることになりました。その際、改めて人と直接関わる仕事の魅力を感じ、人の成長に関わる仕事をしたいと思いこの道を選びました。

普段の仕事では、まず自分が笑顔でいることを大切にしています。人を笑顔にしたかったら、まず自分が笑顔でいなければならない。三島キャンパスが常に笑顔であふれる場所になるよう、日々心掛けています。そんな日々の中で印象に残っているのは、就職に向けてなかなか一步を踏み出せなかったMさんの実習です。不安の中で最後までやり遂げたMさんに「実習先の皆さんが良くしてくださったからだよ」と声をかけたところ、「それもあるけど三島キャンパスの職員の皆様のおかげです」と笑顔で話してくれました。その言葉がとても嬉しく、Mさんの成長を感じ、心の底からこの仕事を選んでよかったと思える瞬間でした。

私自身、これまで『インクルーシブ社会』についてそこまで意識したことはありませんでしたが、長谷川代表や三島キャンパスの皆様のお考えに触れ、普段から「インクルーシブな社会とは」を考えるようになりました。誰しもがいろいろな『生き辛さ』を抱えて生きています。そうした『生き辛さ』が少しでも軽減できる社会の実現に、これからも尽力していきたいと考えています。

最後に、未来への架け橋を支えてくださる皆さまへ。

いつもお世話になっております。大事なこととして笑顔を挙げさせていただきましたが、いつも利用者様、ご家族、地域の方から笑顔の素を頂いております。常に感謝の気持ちを持って支援に取り組み、皆さまを笑顔にすることで還元できればと考えております。

地域交流：沼津市立長井崎小中一貫校との交流会



三島キャンパスでの地域活動は、10月20日に沼津市の長井崎小中一貫学校との交流会を通じて大成功を収めました。電車やバスを乗り継いで現地に到着すると、体育館では中学生たちが温かく迎えてくれました。彼らはソーラン節を披露し、我々みらいカレッジも自分たちの活動を紹介しました。グループに分かれて行ったマシュマロタワーの協力活動では、双方の参加者が実際に手を動かしながら、コミュニケーションの大切さや協力の意義を肌で感じ取ることができました。この交流会は、中学生にとっては「色々な人と関わろう」という活動の一環であり、我々の「インクルーシブ社会の実現」の一步として機能しました。予想を超える参加者の積極性や成長は、私たちにとって驚きと喜びをもたらしました。中学生たちにも何かしらの変化があったのではと期待しつつ、まずはこの活動が利用者の成長に寄与したことに感謝の気持ちでいっぱいです。この活動は今後も引き続き行われる予定で、さらなる交流の機会を楽しみにしています。



No.5：宇美キャンパス 生涯学習コース K・Sさん

Q. ご入学前はどのようなことに不安を感じていましたか？

最初は、肢体不自由であるため、動きの面で転倒などのリスクが心配でした。職員さんの穏やかな表情や笑顔が、息子を通わせるうえで一番の安心材料でした。

Q. 入学後、お子さんにはどのような変化が見られましたか？

言葉を発することがあまりありませんでしたが、聞かれたことに答えることが少しずつできるようになりました。また、本人にも「仕事をするために通っている」という自覚が芽生えてきたように思います。（月曜日は行きたくないモードですが、宇美キャンパスに着くと、時間がかかっても“仕事モード”になるとのことです。）

さらに、身体の機能が落ちないよう、スクワットや腹筋などを日々取り入れてくださっており、通院しているリハビリの先生からも「通所施設での取り組みが成果として出ています」と言われています。日々のご支援に感謝しております。

Q. 最後に、ご家族から一言お願いいたします。

先日、みらいカレッジキャンパス交流会の見学をさせていただきありがとうございました。利用者の方々が以前と比べて落ち着いており、職員の方々の努力の賜物だと感じました。これからも、利用者の方々がそれぞれの個性を発揮できる場所であってほしいと思います。



三島キャンパス 管理者 中村芙美子さん

私には3人の子どもがいます。全員18歳を超え、それぞれ自立の道を歩み始め、家を離れて生活しています。家庭では責任を感じながら、時にうるさく（笑）たくさんのことを伝え、必死に育ててきました。けれど、子どもたちが青年期を迎え、大人になっていく過程に入ると、心配事はむしろ増すばかり。頭では「手を放し、口を閉じ、心をつなげ」と理解していても、未熟さの残る子どもたちの行動に我慢しながら、経験を積んでいく姿を祈るしかできない、もどかしい日々です。「口を出してはいけない時期」と心得ながらも、これは子育ての最終章なのだと自分に言い聞かせ、耐えています。そんな中、おしゃべり好きな大学3年生の次女は、日々の出来事や感じたことを話してくれます。私はそれを傾聴しながら、親の手を少しずつ離れていく我が子が、社会に出てどんな大人と出会い、どんな対話を重ねていくのかを思い巡らせています。多様な価値観に触れ、自分の考えを形成していくことの大切さを、改めて感じる日々です。

親は子どもより先を歩いているからこそ、見える景色も、ある程度の結果の予測もできます。その分、守り育てることに執着してしまいがちですが、大人になろうとしている子どもたちにエールを送り、心配しながらも見守る…そんな親でありたいと、日々自分に言い聞かせています。支援の現場でも、青年期の利用者様にとって近い存在の一人の大人として、責任を持って傾聴し、対話を重ねることの大切さを感じながら支援にあたっています。

我が子3人と、カレッジの利用者様の成長を祈りながらの、つぶやきです。

各キャンパスおすすめベストショット

宇美キャンパス



郊外行事
インクルーシブ公園

三島キャンパス



【地域活動】長井崎小中一貫学校交流会
無事交流会を終えて…ホッと一息な帰り道

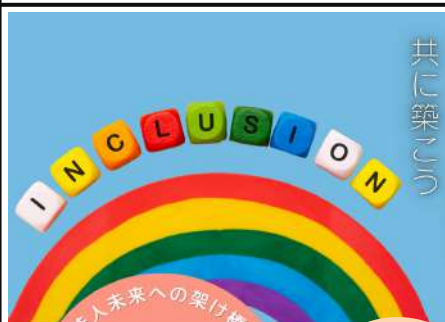
11月架け橋の会ご入会者様
ご支援、心より感謝申し上げます。

フロントップ株式会社、リーフラス株式会社、公益財団法人つなぐいのち基金、ぜんち共済株式会社、一般社団法人UBUNTU FSプロモーション、株式会社入江感動経営研究所、北村悦子、酒井巳喜雄、國分幹生、篠田哲郎、奈倉京子、山中和彦、鎌倉はんこ月野允裕、倉光美奈子、倉光晃子、石山早苗、森本創、宮入卓也、小松原修、石川真希子、砂長美ん、宮崎信恵、山田千春（敬称略・順不同）

※賛助会員のご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ記載しております。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



インクルーシブ
社会の架け橋を
共に築こう

活動内容

➤福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果を広く発信します。

➤会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】

【年会費（1口）】



法人	特別会員：10万円
	正会員：5万円
	賛助会員：1万円
個人	特別会員：3万円
	正会員：1万円
	賛助会員：3千円

架け橋の会
会員募集

入会特典キャンペーン
代表理事 長谷川正人の
著書を1冊プレゼント！

読者の声・アンケート

～架け橋ひろばを読んで～

「架け橋ひろば」をいつもお読みいただき、ありがとうございます。
皆さまからのご感想やご意見は、私たちにとって大きな励ましであり、活動を続ける力になっています。

これからも心に寄り添えるニュースレターをお届けしてまいります。
よろしければ右のQRコードよりアンケートにご協力ください。

メールでのご感想もお待ちしております。



info@miraicollege.com

お知らせ

～講演会・イベント情報～

みらいカレッジでは、下記のお申し込みを受け付けています。
ホームページまたはメールにてお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先
info@miraicollege.com

オープンキャンパス

▷こんな方におススメ
キャンパスの雰囲気や取り組みをじっくり知りたい方

- ・管理者による概要説明
- ・ご希望に応じて体験授業や個別面談も実施

キャンパス見学

▷こんな方におススメ
実際のプログラムや利用者の様子を見てみたい方

- ・ご興味のあるプログラムを見学可能
- ・見学後には管理者との個別相談あり

オンライン説明会

▷こんな方におススメ
日中に時間が取りづらい方、代表理事の話を知りたい方、遠方にお住まいの方

- ・ご自宅から参加可能
- ・代表理事 長谷川正人より概要説明

代表理事による出張講演会

▷こんな方におススメ
代表の想いを直接聞きたい方、団体での参加を検討されている方

- ・ご家族・親の会、教育・福祉関係者の皆様
- ・ご希望のエリアでの出張講演

スケジュール 11月の行事・イベント予定

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。

「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでもご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。

November



Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						1
2	3	4	5 地域活動 (宇美・三島) オンライン 説明会	6	7 行事：登山 ノルディック ウォーキング (三島)	8 オープンキャンパス(三島) 地域活動 焼き芋作り (宇美)
9	10	11	12 郊外行事(宇美) 地域活動(三島) オンライン 説明会	13	14	15 地域活動 防災体験(宇美) ショッピング モール (三島)
16	17	18	19 地域活動 (宇美・三島) オンライン 説明会	20	21	22 調理実習 おやつ作り (三島) 地域活動(宇美)
23 育成会バザー (三島)	24	25	26 地域活動 (宇美・三島) オンライン 説明会	27	28	29
30	オープンキャンパス お申込みは、左のQRコードまたはホームページから受け付けております。 ご不明な点がございましたら、お電話またはメールにてお気軽にお問い合わせください。					

編集後記

広報部より

「架け橋ひろば」も秋の彩りを感じる内容になってきました。

宇美キャンパスでは筑豊緑地のインクルーシブな遊具ひろばへ、三島キャンパスでは小中一貫校との交流会へと、それぞれの地域で異なる形の「インクルーシブ」に触れる機会がありました。

また10月には、関東の大学教授からの見学依頼や、茨城県鹿嶋市での講演依頼などもいただき、当法人の活動が少しずつ広がっていることを実感しています。関心を寄せていただけることに、心より感謝申し上げます。

紙面ではお伝えしきれない日々の活動の様子は、Instagramで毎週発信しています。ぜひそちらもご覧いただき、キャンパスの今を感じていただけたら嬉しいです。今後もさまざまな取り組みの進捗もお伝えしてまいります。どうぞお楽しみにお待ちください。



MIRAI COLLEGE



学びをチカラに。未来を拓く!

一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お問
合
せ

〒811-2129

福岡県糟屋郡宇美町神武原3-1-1

TEL: 0120-861-821

E-Mail: info@miraicollege.com

